

そう だい  
総 題 「イザヤ」

だいじゆっか しん おこな  
第10課 「信じえないこと」を行う

たけだ まさや  
武田 将弥

いち あんそくにちごご  
1. 安息日午後

ちゆうごくじん  
中国人のクリスチャンであるラフ・フックさんは、アフリカで奴隷として働いている人たちに、神様の言葉を伝えたいと考えました。フックさんはアフリカへ行って自分も奴隷になりました。奴隷として苦しんでいる人たちと一緒に過ごしながら、神様のことを伝えてみんなを励まし続けたのです。残念ながらフックさんは死んでしまいましたが、奴隷だった仲間たちから200人くらいの人たちが、イエス様のことを知ってクリスチャンになったのです。何ということでしょうか！ フックさんは他人の幸せのために、自分の人生や命を犠牲にささげました。普通では考えられないとても深い愛を、どうしてフックさんは持つことが出来たのでしょうか？ 理由は、フックさんが自分よりも、もっと深い愛をもった方と出会うことが出来たからなのです。深い愛を持った方は一体誰でしょうか？ もう皆さんはお分かりだと思いますが、深い愛を持った方はイエス様です。

さま にんげん てんし こ そんざい かみさま ひとりむすこ  
イエス様はもともと人間ではありません。天使をも超える存在の、神様の一人息子なのです！ しかしかみさま すがた つみ も わたし にんげん ちよくせつ はなし いっしょ す まんぞく で  
神様の姿のままでは、罪を持った私たち人間とは直接、お話をしたり一緒に過ごしたりは満足に出  
来ません。人を救うために、イエス様は自分から人間になることを選んで、この地上に生まれて来てくだ  
さったのです。そしてイエス様は私たちに神様のことや天国のことなどを教えてくださいました。フック  
さんはイエス様のおかげで希望を持てたので、自分も受けたその喜びを、他の人たちにも感じて欲しいと  
ねが だれ で き  
願ったから出来たのです。

に ちちうび しけんしんり  
2. 日曜日：試験真理

げんだいしゃかい せいしかつ わたし ぶんか ひと ぼうりよく ふ おも  
現代社会で生活している私たちの文化では、人に暴力を振るうことはいけないことだと思っていま  
すし、やられたらやり返すという復讐もしてはいけないと考えています。しかし時代や地域によって、  
ぶんか かんが かた いろいろ か むかし きんとうぶんか めいよ まも だいじ  
文化の考え方は色々変わってきます。昔の近東文化では名誉を守ることはとても大事なことでした。  
だれ ぶじよく ばあい じぶん かえ いのち うば かくご ひつ  
もし誰かを侮辱する場合、自分もやり返されたり、命を奪われたりするかもしれないという覚悟が必

要ようでした。しかし聖書せいしよには、どんなひどい仕打ちしうちを受けても、絶対ぜったいにやり返かえしたりはしないで、ひたすら耐え続けるたえイエス様の姿すがたが描えがかれています。

※1 侮辱する：ばかにする

### 3. 月曜日：苦難の僕の詩

預言者よげんしゃのイザヤは、メシアきゆうせいしゆ（救世主）の事を教おしえています。説明せつめいによるとメシアはダビデの家系かけいから生まれて、多くおほの人を癒いやして救すくうけれども、無実むじつの罪つみで死ぬしることになると預言よげんされています。そしてイザヤ書いざやしょ 5 2 : 1 3 ~ 5 3 : 1 2 は「苦難の僕の詩」と呼よばれる有名な聖句せいこですが、この部分ぶぶんを讀よむと十字架じゆうじかにかかるイエス様の場面さまがイメージとして湧わいてきます。イエス様は「あなたたちは聖書せいしよの中に永遠えいゑんの命いのちがあると考かんがえて、聖書せいしよを研けん究きゆうしている。ところが、聖書せいしよはわたしについて証あかしをするものだ。 (ヨハネによる福音書よくいんしよご 5 : 3 9 ) 」と言いわれました。ようするに預言者よげんしゃのイザヤは、イエス様さまこそがメシアきゆうせいしゆ（救世主）であると教おしえているのです。

### 4. 火曜日：だれが信じえようか

イザヤ書は救世主きゆうせいしゆである「人の子ひと (イエス様)」は、面影おもかげが無なくなるほどボロボロになると説明せつめいされていますが、これはムチで打うたれたり、いばらの冠かんむりや十字架じゆうじかに釘くぎで打うたれたりしたからだけではありません。表面的なダメージよりもむしろ、わたしたちの罪つみを代わりかりに引ひき受うけてくださったことにより受けた、※2 目に見えない内面的 (霊的) なダメージが凄まじかったのです！ それこそ主しゆの心臓しんぞうが破裂はれつしてしまうほどに…。

※2 目に見えない内面的 (霊的) なダメージが凄まじかった：内臓や心の傷がズタズタになるほど大きかった

### 5. 水曜日：罪に沈む者たち

当時とうじの人たちのほとんどは「きっとイエス様は世界せかいを救すくってくれるにちがいない！」と思おもっていたのに、十字架じゆうじかにかかっているイエス様を見てガッカリと失望しつぼうしたことでしょう。なぜなら、もしメシアきゆうせいし（救世主）であれば、十字架じゆうじかという※3不名誉ふめいよな方法ほうほうで死刑しけいにされるはずがないと思おもっていたからです。しかし私わたしたちは、みんなが「やっぱりこの人は違ちがったんだな…」と見放みはなしたイエス様こそが、※4正真正銘しょうしんしょうめいのメシアきゆうせいしゆ（救世主）であることを知しっています。聖書せいしよによると本物のメシアほんもの（救世主）は、私わたしたちを救すくうために自分じぶんの意志いしで苦難くなんの人生じんせいを選えらばれるのです。

※3 不名誉な：みじめな

しょうしんしょうめいほんもの  
※4 正真正銘：本物

ろくもくようびつぐないささげもの  
6. 木曜日：償いの献げ物

せいしょおしひとたいなにわるぼあいあいてつぐない  
聖書の教えによると、もし人に対して何か悪いことをしてしまった場合、ちゃんと相手に※5 償いをしてから、神様に罪を赦していただく印として、捧げ物をしなくてはなりません。旧約聖書の時代は「オスの小羊」を捧げ物としていましたが、今から2000年前に本物のメシア（救世主）であるイエス様が「償いの捧げ物」として、神様から赦していただく印になってくださったのでした。

つぐないあいてあやまかねしなものわたところわ  
※5 償い：相手に謝ってお金や品物を渡して、心からのお詫びをすること

ななきんようびけんきゅう  
7. 金曜日：さらなる研究

あだむとえむが※6 犯した罪の呪いは、人間がどんなに努力しても消すことが出来ません。罪を消すことが出来なければ人間は永遠に救われることが出来なくて苦しむことになってしまうのですが、神様は人間が負いきれない罪を、※7 ご自分が代わりに負うことによって、私たちの罪を消してくださるのです。ここに神の大きな愛があります。

おかつみのろかみやくそくやぶつみちじょうおわざわふこう  
※6 犯した罪の呪い：神さまとの約束を破った罪が地上に起こした災いや不幸

じぶんかおじゅうじか  
※7 ご自分が代わりに負うこと：十字架にかかること

ふかえしつもん  
★振り返りの質問★

しよごじゅうさんしやうよさまじゅうじかむいようすそうぞう  
イザヤ書の5章3章を読んで、イエス様が十字架に向かって行った様子を想像してみてください。そして神様に対する感謝の気持ちが増えることを確認し、今までに経験した証しなどがあれば誰かと分かち合ってください。